

2025年7月17日

東北経済産業局

『“地球に優しい”プラスチック関連の取組』を作成しました ～カーボンニュートラル実現に向けた、プラスチック関連の先駆的な取組～

東北経済産業局は、プラスチック代替素材※の開発や活用、プラスチックリサイクル等に積極的に取り組む東北地域内外の企業にインタビューを行い、取組事例集を作成しました。

近年、地球環境への配慮から、石油由来のプラスチックをより環境負荷の小さな代替素材に切り替える動きが広がっているほか、再生プラスチックの利活用促進に向けた取組も行われています。

本事例集では、様々なプラスチック代替素材の特徴や具体的な活用事例、プラスチックリサイクルの取組等について紹介しています。

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、産業界におけるこれらの取組がますます重要となりますので、ご参照ください。

※ バイオマスプラスチック、生分解性プラスチック、その他のプラスチック代替素材等

1. 背景

近年、地球環境への配慮から、世界的にプラスチック削減の動きが加速している中で、従来の石油由来のプラスチックを環境負荷の小さな代替素材に切り替える動きが広がっています。

我が国でも、廃プラスチックの有効利用や海洋プラスチック等による環境汚染等の課題に対応するため、2019年5月、「プラスチック資源循環戦略」を策定し、2030年までにバイオマスプラスチックを200万トン導入、再生利用を倍増する目標を掲げています。

本事例集は、今後バイオマスプラスチックをはじめするプラスチック代替素材の活用、導入やプラスチックの再生利用を行う際の参考としていただくため、企業の先駆的な取組を紹介するものです。

2. 事例集について

■『“地球に優しい”プラスチック関連の取組』

(本発表資料のお問合せ先)

東北経済産業局地域経済部製造産業課長 百目鬼

担当者: 六沢、櫻井

電話: 022-221-4903(直通)